

CT の特性実験結果について（その 1）

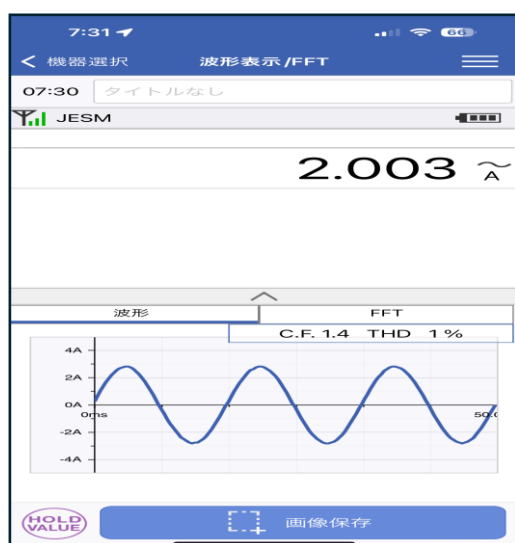
電流発生装置（GCRmini）で、200mA、2A の正弦波を発生させて、各 CT の電流値を測定した。
各機器ともほぼ同等の電流値を表示した。測定結果は以下の通り。

なお、今回は 2433 のみが、電流値を小さく表示していた。CT のコアの噛合部に付着した汚損物を洗剤液で除去したところ、正常値を表示するようになった。測定結果は以下の通り。

測定機器：KEW SNAP2433、CM4001、KEW SNAP2033、MCL-8001RV、FR1050A、PQ3100

電流発生装置：GCRmini

[測定結果]



2024 年 10 月 27 日

JESM 村上

CT の特性実験結果について（その 2）

分電盤で高調波が含まれている電流値を測定したところ、フィルターを通さないと CT2433（平均値検波）は CN4001（実効値検波）に比べて表示値が 10 % 程度小さく表示する。フィルターを通すと双方とも同等の表示値であった。測定結果は以下の通り。

※平均値検波 CT は、平均値を実効値へ換算している。方法は、平均値検波値 $\times ((1/\sqrt{2}) \div (2/\pi))$

測定機器：KEW SNAP2433、CM4001

なお、現場の電流はほとんどがひずんでいる。この程度の歪波において、平均値検波の CT ではフィルターを通すことで、実効値検波と同等の表示をするのではないかと想定する。

